

犯罪から 身を守るために

空き巣や車上ねらい、ひったくり—
怖いけれど、どこかで自分は大丈夫と思いませんか。
札幌では、昨年1年間に約2万4千件もの犯罪が起っています。
あなたや大切な家族がいつ犯罪に巻き込まれてもおかしくありません。
この特集では、発生件数が多く、特に注意が必要な
「車上ねらい」と「侵入窃盗」に焦点を当て、
その犯行手口や効果的な対策を紹介していきます。

この特集に関するお問い合わせは、区政課 ☎211-2252

※犯罪件数は、全て警察が把握した認知件数です

札幌で起きている犯罪の実態

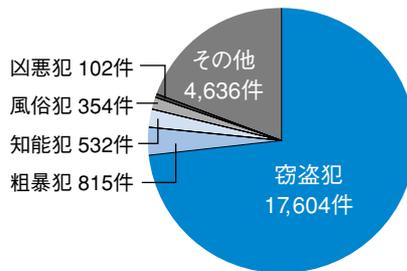
毎日70件近くの犯罪が発生

昨年、市内で起こった犯罪件数は、24,043件。最も多かった平成13年の41,290件からは毎年減少傾向にあります。日々多くの犯罪が市内で発生し、被害に遭う人は後を絶ちません。

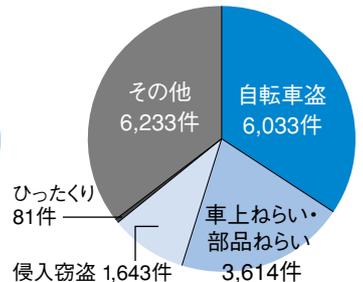
窃盗が圧倒的に多い

最も多く発生している犯罪は、他人の物を盗む窃盗犯。昨年は17,604件も発生し、犯罪全体の約4分の3を占めています。特に、自転車盗、車上ねらい、侵入窃盗が多く発生しています。

■ 市内で発生した犯罪の種類 (平成23年)



■ 窃盗犯の手口別内訳 (平成23年)



〈用語解説〉

- ・窃盗犯 侵入窃盗、自転車盗、ひったくりなど
- ・粗暴犯 暴行、傷害、恐喝など
- ・知能犯 詐欺、横領など
- ・風俗犯 賭博、強制わいせつなど
- ・凶悪犯 強盗、殺人、放火、強姦

最新の犯罪の発生情報入手できます

犯罪情報をリアルタイムにお知らせ ほくとくん防犯メール

携帯電話やパソコンから登録すると、身近な地域で起こった犯罪情報をメールでお届けします。登録料は無料。地域を管轄する警察署ごとの選択ができます。

携帯電話サイト



北海道警察ホームページ
www.mmg.police.pref.hokkaido.jp/

発生状況が一目瞭然 犯罪発生マップ

ひったくりや路上強盗など7種の犯罪の発生箇所を示した地図を、ホームページ上で公開しています。お住まいの地域を選択し、近所の犯罪発生状況を簡単に調べられます。

北海道警察ホームページ
map.police.pref.hokkaido.jp/hp_asp/main.do



事件簿

今年1月夜8時過ぎ、友達とスーパーの屋内駐車場に車を止め買い物へ。戻ったら、後部座席のガラスが粉々に割られ、車内に置いていた友達のバッグが盗まれていました。ガラスが割られたドアは、破片で傷付き全部交換に。保険がきいても5万円も掛かりました。鍵を掛けていたし、店内出入口近くで安全だと思ったのに…。

手稲区在住E・Fさん(20代・女性)

車を離れた隙に、車内に置いたバッグや現金などが盗まれる「車上ねらい」。昨年は、おとししに比べて327件も被害が増えています。また、カーナビなどが盗まれる、部品ねらいも多発しています。

車上ねらい



23年の市内発生件数 **3,614件**※

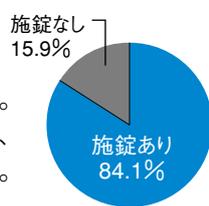
※部品ねらい(カーナビやオーディオなどの盗難)も含む

ここが危険! 手口や傾向を分析

鍵を掛けていても狙われる

車上ねらいに遭った車の8割以上は、鍵を掛けていたのに被害に遭っています。金づちなどの鈍器で窓を割って侵入し、車内から物を盗む手口が横行しています。

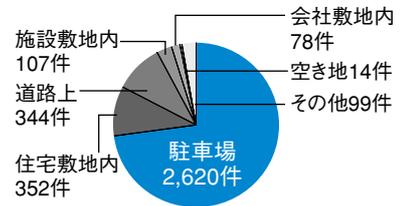
■ 車上ねらいに遭った車の施錠の有無(平成23年)



自宅の敷地も安心できない

発生場所が一番多いのは店舗や集合住宅などの駐車場です。次に多いのは、意外にも一戸建住宅などの自宅敷地内での被害。自宅でも対策を怠らないことが重要です。

■ 車上ねらいなどの発生場所(平成23年)



プロ直伝 防犯のポイント

～車上ねらい編～

北海道警察本部で
身近な犯罪の対策に携わる 警部 五十嵐 智さん

昨年市内では、免許保有者の実に317人に1人が車上ねらいなどの被害に遭っている計算で、その確率は道内主要都市でもトップです。「もしかしたら自分も被害に遭うかもしれない」という意識を持って、防犯のための対策を心掛けてください。



私がお教えします!

こんな車は狙われる!



車上ねらいへの対策

1. 車内に物を置かない。これ鉄則!

犯人は、鍵が掛かっていても車内にバッグなどがあれば、ガラスを割ってでも犯行に及びます。カード類や携帯電話など何でも標的になるので、車内は必ず空っぽにしてください。

2. 短時間でも必ず鍵を。

施錠していない車は真っ先に狙われます。気付かないところで、犯人はあなたの行動をチェックしていますよ。

3. 駐車は、明るく人目に付く場所に。

暗くて犯行が目立たない夕方から夜間にかけて被害が増加します。駐車の際は、明るく、通行人が多く、できるだけ管理が行き届いている駐車場に止めましょう。

4. 音や光で威嚇する防犯機器が有効。

振動や人の動きを感知して警報音や光を発する防犯機器は、犯人を威嚇する効果があります。自宅敷地内での犯行を防ぐには、センサー付きライトや防犯カメラが有効ですよ。

◎防犯機器はカー用品店などで購入できます

事件簿

今年2月の夕方、帰宅したら閉めたはずの玄関ドアの鍵が開いていました。不審に思いながら室内に入ると、ベランダの窓ガラスが割られて床に散乱。テレビやパソコンがなくなり、別の部屋もタンスが開けられ衣服が散らばっていました。一番安全であるはずのわが家がこんなふうにと足で踏み荒らされるなんて…。そのときの怖さは今も頭から離れません。

市内在住 匿名(女性)

留守中や就寝時などに、何者かに侵入され、金品を盗まれる「侵入窃盗」。金品の被害はもちろんだ、自宅を荒らされるショックは計り知れません。運悪く犯人と鉢合わせ、身体に危害を加えられる場合もあります。

侵入窃盗

23年の市内発生件数 **955件**※

※住宅を対象とする件数

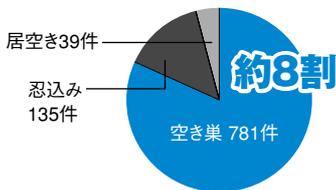


ここが危険! 手口や傾向を分析

8割以上は「空き巣」

侵入窃盗のうち最も多いのは、留守宅を狙った「空き巣」。しかし、家人が在宅中でも、夜間寝ている間に侵入される「忍込み」や、日中テレビを見ている間などに侵入される「居空き」も少なくありません。

■侵入窃盗の手口(平成23年)



侵入の5割以上が「窓・ベランダ」から

侵入口は「窓・ベランダ」が半数以上で、「玄関」が4割ほど。どちらも無施錠が大きな原因です。また、玄関では「鍵の破壊」、窓・ベランダでは「ガラス破壊」による侵入が多発しています。

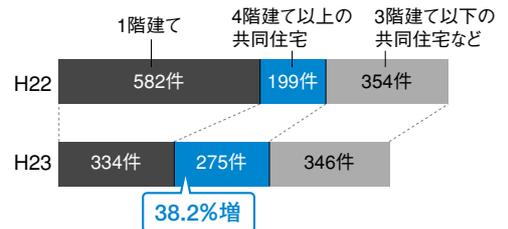
■侵入口と侵入手段(平成23年)



マンションなどでの犯行が前年比約4割増!

侵入が容易な一戸建てや低層の共同住宅での被害が多い中、昨年は4階建て以上の共同住宅に侵入する犯行が急増。「高い階だから大丈夫」という油断に、泥棒は付け込んできます。

■発生場所



なるほど! 泥棒の行動と心理



犯行の手順

1. 玄関周りを下見する。
2. 留守を確認する。多くの場合、インターホンを押して確認。
3. 侵入する。

声を掛けられると、多くが犯行を諦める

犯行を諦めた理由で一番多いのは「近所の人に声を掛けられたり、じろじろ見られた」。泥棒は、さまざまな人の目がある連帯感の強い地域には寄り付きにくいのです。

多くがインターホンで留守を確認

多くの泥棒にとって、犯行の決め手は留守であること。意外にもインターホンで確認するケースが多いといえます。留守を悟られないことが犯行を防ぐポイントです。

侵入に5分かかると、7割が諦める

侵入に5分かかると7割の泥棒が諦め、10分以上かかると9割以上が諦めるといいます。被害を防ぐには、侵入に時間がかかるような対策をすることがとても有効です。

地域安全 サポーターズ



企業が本業の活動や専門知識を生かして、防犯パトロールや啓発活動などに取り組む仕組みです。現在219社が登録し、地域の安全に貢献しています。

活動事例

チラシを配りながら地域をパトロール 株式会社リッド

本業は、チラシなどを配るポスティング。約700人のスタッフが、チラシ配りの際に地域安全サポーターズの腕章を着けて、犯罪防止のパトロール活動を徒歩で行っています。



あなたの会社も参加しませんか?

「地域安全サポーターズ」への登録事業者を募集しています。

詳しくは区政課(2階)へお問い合わせを。



プロ直伝 防犯のポイント

～侵入窃盗編～

防犯に強い設備施工や防犯指導に携わる
総合防犯設備士 たかはしすすむ 高橋 進さん

防犯教室で道内を回っていますが、市内でも鍵を掛けずに外出する人が案外多いのです。まずは、自分の財産や命を守る鍵の大切さを認識してください。自宅の対策を行うことに加えて、ご近所同士で見守り合える関係をつくるのが防犯には非常に有効ですよ。



私がお教え
します!

こんな家は狙われる!

簡単に割られる
ガラス窓 **ガラス**

鍵が1つだけ **鍵1つ**

塀や植栽で
死角ができています **死角**



侵入窃盗への対策

1.ごみ捨てや在宅の時も、必ず施錠!

侵入窃盗の約半数は、鍵を掛けていれば防げたもの。「面倒だから」「家に居るから」と無施錠にするのは絶対だめ! 2階の窓も部屋に居ない時は閉めて錠を掛けましょう。

2.玄関ドアや窓には、2つの鍵を。

鍵が2つあると侵入までに時間がかかり、犯行を諦めさせるのに有効です。玄関は、特殊な工具を使って開錠する手口に対応した補助錠を、工賃込みで2万円前後で取り付けられます。

3.家の周りの見通しを良くしよう。

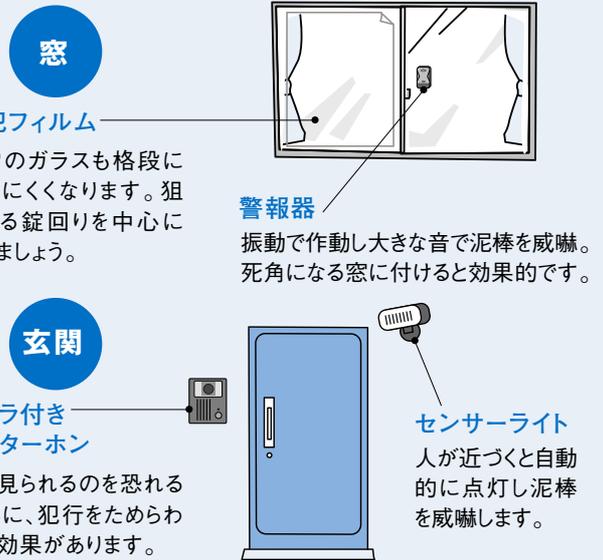
人目を遮る高い塀や植栽は、泥棒には格好の隠れ場所です。また、灯油タンクなどは2階への足場になることも。家の周囲を点検して、死角や足場は極力なくしましょう。

4.留守と悟られない工夫を。

新聞がたまっている家や夜間真っ暗な家は、留守と見抜かれ狙われます。長期間留守にするときは新聞を止め、夜に外出するときは部屋を明るくして在宅を装うのも効果的です。

5.侵入を諦めさせる防犯用品の活用を。

侵入に時間をかけさせる、光や音で威嚇するなど、効果的な防犯用品を活用しましょう。



犯罪は人ごと ではない

「自分の身は自分で守る」。一人一人がその意識を持って行動することが、防犯には最も大切です。自分や家族はもちろん、みんなが安心して暮らせるまちにするため、まずは身近な防犯から始めましょう。

防犯について、
さらに知りたいときは

- ・出前講座 市職員が町内会の会合などに出向いて、地域の防犯の取り組みなどを説明します。詳細は区政課(2階)へ。
- ・ホームページ www.city.sapporo.jp/shimin/chiiki-bohan/index.html

地域や企業による活動が
まちの安全を
守っています。

市内各地で、防犯パトロールや
子どもの見守り活動などが
行われています。